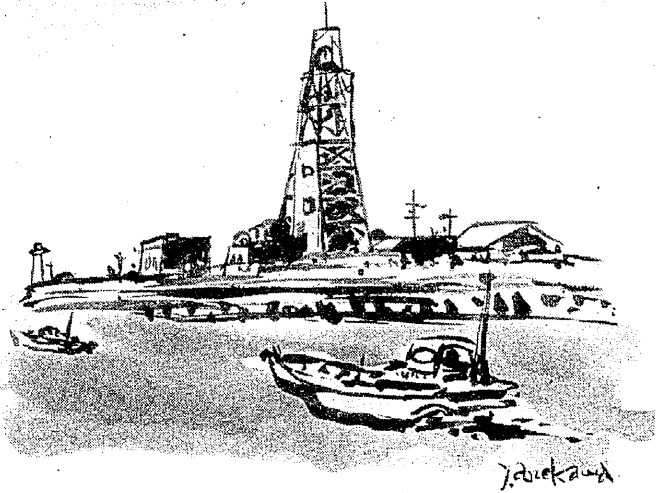


海と船と港



Y. Kubokawa

南新開立坑

画 姉川良男

有明海にそそぐ大牟田川の河口に立つ南新開立坑は、入気坑道として戦後間もなく開さへされた。かつての有明から三川への揚炭ベルトも今は撤去され、現在は少数の人員で坑道が維持されている。



今年もはや節分。暖かい日が続いたあとの寒波襲来で、ひととお寒さがこたえコタツにかじりついて終日を過ごす。

「三井三池、出炭量を百万トン削減—四山鉱も閉鎖へ」と二月一日付朝日新聞は一面トップ、大きな見出しで伝えています。五年間の第八次石炭政策期間中に年間約四百五十万トンから三百五十万トンに出炭を減らし、自然減のほか下請けを含めて千人程

あとにはひけない

荒尾ブロッコ 古閑 美子

化が予想されてはいますが、いつも感じること、マスコミの報道が先行して不安が広がることです。りは少々条件が切り下げられてもマスコミの報道によって動行者一人ひとりが、なんとなくそれを「仕方ない」と受け流すような三池主婦会も、答申が出るまでは



読売の反省は?

読売新聞の世論調査(一月三十日)で、中曽根内閣の支持率が四〇%を割って三八・一%に落ち、不支持率の四五・五%を下回ってしまいました。昨年十二月の調査に比べて、わずか一月で支持率は九・五%急落し、不支持は一〇・八%急上昇しました。

度の希望退職を募り、採炭現場をことになっているのではないかと現在の九カ所から三カ所に集約す心配します。中曽根内閣の失政による日本列島の状況といわれる中で、石炭産利・厚生への切り下げ、一月からの業はくへにきびしいのだから……臨時休業などのおと、大きな無理といふ気持ちがあるのかもしれない。私たちが、三池闘争や〇〇闘争をたたきつけてきた一人として、もう一度気を引き締めて「石炭守れ」「反合理化」のたたかいに取り組みなければなりません。今年十月には主人も定年退職になりましたが、あとに悔いを残さないように頑張らなければ……。三番方あたりで、コタツで寝入っている夫。ひたひたの深い皺が胸をさす。「労働者は虫ケラではない……」



7つのまちがい



<問題>下の絵は上と7カ所のまちがいがあります。どこでしょう。(印刷のよごれはまちがいははりません) 答えは4面別項に。 出題・西山 進

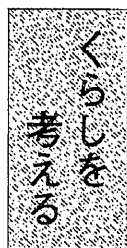
寒さに気をつけよう

神山恵三

二月の声を聞かすようになるとさすがに空の色もなんとなく春の微動が感じ取られる。日本海側の地方でも、来る日も来る日も雪空といつとも曇り曇り、ときおり太陽の光がささりと差し込んでくる。梅の便りもちらほらと耳に入ってくるようになれば、そしてついに、さよと西高東低の気圧配置の等圧線の間隔がゆるんでくれば、春を待ち

わびていた人びとはもう春が到ったよりのも思ってしまうのも無理ない(い)であらう。この句にささるうに虚子は海

「このように十分に海を返りませ警戒していてもなお、寒さの逆襲はバカにできないわけだ、無警戒に、ちよと寒さがもたらした腰かくなつたのさしい気になつてはえらいことになる。休むこと、鍛えること、バランスのとれたものをゆくり規則的に食べるこの原則にはずれなような生活を続けていくこと、そして海を返りの気象への警戒心をいつも持つていくこと、二月を健康に送る基本である。(生気象学者)



くらしを

「支持率が急落した主な要因は、「売上税」の導入など税制改革案と防衛政策に対する不満が重なったためと見られる」と読売は解説しています。不支持理由は「税制改革」が「トーンを五四・二%です。読売はこれまで中曽根路線を賛美し、売上税導入にも宣伝役を務めてきました。世論調査を報じた日の社説でも、施政方針演説で首相が売上税にふれたことか

バターとマーガリン バターがいい コレスステロールを気にして、マーガリンを使う方が多いようですが、健康の点からは問題がないのでしようか。 マーガリンは、コーン油や大豆油、パーム油などの植物油から作られます。もろが液状ですので、水素を添加してバター状にします

「この過程で植物油の特徴である不飽和脂肪酸は脂肪酸に変わってしまいます。水素の他にもマーガリンにはたたくさんの添加物が使われ、その量はバターの三倍倍になると東京都民生協は報告しています。 バターはその点、ほとんど添加物がありませんし、消化もよいので安心して子どもや病人、老人に使えます。これにコレステロールを心配するほど、日本人の脂肪摂取量は多くないと言われています。値段が安いという点、さらにテレビのCMマーシャルもあって家庭で多く使われていますが、マーガリンから、体に安全なバターにあなとも変えてみませんか。

三池闘争25周年記念出版

「三池闘争」の記録

A4版654頁 頒価5,000円(送料400円)

(申込先) 元組合員には割り引きがありますのでお問い合わせ下さい。

〒836 福岡県大牟田市入船町1番地

三池炭鉱労働組合 ☎0944 (53) 3033~4

—内 容—

- 刊行のことば
中原一・三池労組組長 黒川武・総評議長 橋本亮・炭労委員長 太田薫・元総評議長 岩井章・元総評事務局長 原茂・元炭労委員長 佐伯静治・総評弁護団団長 久保田武己 元三池労組副組長
- 機関紙「みいけ」(縮刷)
1959年8月2日号(第585号)~1960年12月18日号(第653号)
- 「日刊情報」(縮刷)
1960年1月30日号(第1号)~1960年12月8日号(第270号)
- 写真集「たたかいの中から」
- 年表 ●たたかいの歌